

まちづくりの目標	5	誰もが学び、成長できるまち
政策	2	自ら学び、自ら考えることのできる子どもを育むまちにします

施策	5	地域で子どもを育むまちにします	担当部(統括部)	次世代育成部
----	---	-----------------	----------	--------

【実現している姿】

目標	子どもたちと地域の大人との交流が盛んになっています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	子どもたちがいきいきと活躍しています。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)
目標	子どもたちがいつでもどこでも安全に過ごすことができます。	
到達度	前期終了年度(平成27年度末)	後期終了年度(平成32年度末)

実現している姿を確認する指標

		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
わくわく広場 1回あたりの参加児童数	目標	—	—	60.0人	60.0人	65.0人	65.0人	65.0人	65.0人	65.0人	70.0人
	実績	59.1人	61.7人	63.0人	58.0人	57.4人					
こども会への児童加入率	目標	—	—	52.0%	53.0%	55.0%	57.0%	59.0%	59.0%	59.0%	60.0%
	実績	56.2%	51.8%	52.0%	54.0%	48.0%					
単位こども会数	目標	—	—	75団体	76団体	78団体	78団体	78団体	78団体	78団体	80団体
	実績	75団体	77団体	76団体	75団体	73団体					
不審者情報数	目標	—	—	25件	20件	15件	10件	5件	5件	5件	0件
	実績	33件	29件	25件	35件	35件					

【施策の展開】◎は重点的な取組み

◎学校、家庭、地域の連携による地域教育の充実

学校を核として、家庭、地域の連携により、地域教育協議会(すこやかネット)や子どもの居場所づくりなど、地域社会を挙げて子どもを育む活動を充実します。また、地域での異年齢交流の機会や場づくりを進めます。

平成27年度事業 ◇地域学校連携活動支援事業4,009千円・◇放課後子ども教室推進事業5,392千円(子育て支援課)						
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	第5期実施計画期間 平成28年度 平成29年度		後期終了年度 平成32年度
計画	各校区地域教育協議会の活動の活性化を協議、各校区情報交換	各校区地域教育協議会の活動の活性化を協議、各校区情報交換	各校区地域教育協議会の活動の活性化を協議、各校区情報交換を実施	各校区地域教育協議会の活動の活性化を協議、各校区情報交換を実施	各校区地域教育協議会の活動の活性化を協議、各校区情報交換を実施	地域教育協議会間の交流や市全体での取組みの検証、評価
取組実績	地域学校連携活動支援実行委員会を2回開催し、事業の重要性を再認識するとともに、各中学校区の取組み状況の情報交換を行った。					
成果	第一中学校区で新たな取組みとして、声かけ活動の講習会を開催し、アンケートで安全な地域づくりに貢献したいなどの意見をいただいた。					
次年度課題	先進的な取組み事例の情報収集、紹介を行う必要がある。					
計画	放課後子ども教室(わくわく広場)の内容、開催場所、メニュー化を検討。各広場リーダー会議の充実	放課後子ども教室(わくわく広場)の内容、開催場所、メニュー化を検討。各広場リーダー会議の充実	放課後子ども教室(わくわく広場)の内容、開催場所、メニュー化を検討。各広場リーダー会議の充実	放課後子ども教室(わくわく広場)の内容、開催場所、メニュー化を検討。各広場リーダー会議の充実	放課後子ども教室(わくわく広場)の内容、開催場所、メニュー化を検討。各広場リーダー会議の充実	放課後子ども教室(わくわく広場)の内容、開催場所検証、評価
取組実績	市内10小学校体育館を活用し、地域の大人を指導者とした放課後子ども教室(わくわく広場)を水曜日を中心に235回実施した。また安全確保や保険適用などを議題にわくわく広場リーダー会議を4回開催し、指導者研修会も開催した。					
成果	指導者研修会のもと安全管理マニュアルや工作の実技指導を学習し、スキルアップへとつなげた。特色ある取組みとして鳥飼東小学校において、カヌー教室の実施につながった。					
次年度課題	指導員としてより多くの方に登録してもらうような方策を検討する必要がある。					

◎人材育成の強化

地域教育を推進するコーディネーターなどの人材育成を強化します。また、青少年指導員連絡協議会、こども会育成連絡協議会、PTA協議会の活動を支援するとともに、新たな地域活動に取り組む団体などを育成・支援します。

平成27年度事業	◇青少年団体育成事業840千円・◇こども会育成事業438千円・◇PTA協議会育成事業80千円・◇青少年指導員事業2,205千円・◇青少年リーダー養成事業2,862千円(生涯学習課)・◇地域学校連携活動支援事業3,587千円(子育て支援課)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	後期終了年度 平成32年度
計画	地域コーディネーターが地域教育協議会の推進・活性化を担うための研修を実施	地域教育協議会の推進・活性化を担うコーディネーターを支援	地域教育協議会の推進・活性化を担うコーディネーターを支援	地域教育協議会の推進・活性化を担うコーディネーターを支援	地域教育協議会の推進・活性化を担うコーディネーターを支援	地域教育協議会の活動検証、評価
取組実績	大阪府の実施する研修にコーディネーターが参加し、他市の先進的な取組み事例の情報収集を行った。					
成果	地域学校連携活動支援実行委員会の場などで今後の活動についての意見交換を行うことができた。					
次年度課題	先駆的な取組みなどを情報提供し、活動を支援していく必要がある。					
計画	青少年指導員、こども会、PTA等青少年関係団体の自主運営を支援	青少年指導員、こども会、PTA等青少年関係団体の自主運営を支援	青少年指導員、こども会、PTA等青少年関係団体の自主運営に向けた課題検討	青少年指導員、こども会、PTA等青少年関係団体の自主運営に向けた協議	青少年指導員、こども会、PTA等青少年関係団体の自主運営の支援内容を検証	青少年指導員、こども会、PTA等青少年関係団体の支援内容等検証
取組実績	各団体に対して事業補助を行うことで、自主的な活動を側面から支援した。					
成果	各団体の運営についてや活動を側面から支援することで団体の自主性が向上した。					
次年度課題	自主活動支援やスポーツ大会などイベントを通じて、家庭や地域、学校、関係団体との連携を強化する。					
計画	チャレンジャークラブ等で青少年リーダーを養成し、グループ化を支援。第1児童センターとの連携を検討	チャレンジャークラブ等で青少年リーダーを養成し、グループ化を支援。第1児童センターとの連携を検討	青少年リーダーの養成と組織化について長期的な計画を検討	青少年リーダーの組織的な活動支援の検討	青少年リーダーの組織的な活動支援の実施	グループへの活動支援及び活動拠点検証
取組実績	夏のキャンプを吉野宮滝野外学校で、冬のキャンプをハチ高原で開催し、ともに40人の参加があった。青少年リーダー養成の一環としてペットボトルアートコンクールや、児童センターのクリスマス会等に参加した。					
成果	子どもたちが多数のプログラムを経験し、様々な知識を得ることで、地域で活躍する青少年リーダーとなるきっかけを作ることができた。					
次年度課題	キャンプで学んだ知識や技能を生かす場づくりを進めるとともに、青少年リーダー養成のために、年間を通じたプログラムづくりを検討する必要がある。また、活動拠点として第1児童センターとの連携を検討する必要がある。					

○体験・学習機会の充実						
地域の青少年団体や各種団体など様々な人たちの参画により、子ども、親子が多様な体験・学習ができる機会を提供します。また、子どもが活躍できる地域活動や団体活動を育成・支援します。						
平成27年度事業 ◇青少年リーダー養成事業2,862千円・◇こどもフェスティバル開催事業2,507千円・◇青少年ゆめ・感動体験事業795千円(こども教育課)						
	第5期実施計画期間					後期終了年度
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	チャレンジャークラブ・野外活動講習会等の開催	チャレンジャークラブ・野外活動講習会等の開催	チャレンジャークラブ・野外活動講習会等の内容を見直し、青少年リーダーの養成を検討	参加者が青少年リーダーとしての活動が行えるよう活動機会の検討	青少年リーダーの組織的な活動に繋がるよう支援	チャレンジャークラブ・野外活動講習会の内容検証
取組実績	夏のキャンプを吉野宮滝野外学校で、冬のキャンプをハチ高原で開催し、ともに40人の参加があった。青少年リーダー養成の一環としてベトポトルアートコンクールや、児童センターのクリスマス会等に参加した。					
成果	子どもたちが多数のプログラムを経験し、様々な知識を得ることで、地域で活躍する青少年リーダーとなるきっかけを作ることができた。					
次年度課題	キャンプで学んだ知識や技能を生かす場づくりを進めるとともに、青少年リーダー養成のために、年間を通じたプログラムづくりを検討する必要がある。					
計画	こどもフェスティバルの開催内容検討、各種団体へ参画呼びかけ	こどもフェスティバルの開催内容検討、各種団体へ参画呼びかけ	子どもたち自身もこどもフェスティバルに参画し、自主的な活動ができる仕組みを検討	こどもフェスティバルに子どもたち自身が参画し、生涯学習の機会の拡充	子どもたち自身も参画し、幅広い世代による新たなイベントの展開	こどもフェスティバルの開催内容検証
取組実績	こどもフェスティバル実行委員会を4回開催し、参画団体が会場配置など内容を協議し実施した。会場の大正川河川敷の右岸・左岸を利用できるように仮設の橋を設置した。					
成果	約10,000人が来場し、子ども、親子が各コーナーにおいて多様な体験・学習をすることができた。					
次年度課題	参加団体数、来場者数の増加による混雑の緩和のため、会場範囲の拡大や配置の工夫等により、安全な運営を進める。					
計画	青少年ゆめ・感動体験事業の内容充実	青少年ゆめ・感動体験事業の内容充実	子どもに様々な夢を持つ機会を提供し、豊かな人生を送ることに繋がるような内容の検討	子どもに様々な夢を持つ機会を提供し、豊かな人生を送ることに繋がるような内容の企画立案	子どもに様々な夢を持つ機会を提供し、豊かな人生を送ることに繋がるような内容の拡充	青少年ゆめ・感動体験事業の内容検証
取組実績	青少年指導員、こども会、PTAの協力のもと、情報交換会を3回開催し事業内容を協議した。宇宙飛行士の山崎直子さんを迎え講演いただいた。また、同日に青少年健全育成ポスター入賞者表彰式、こども会活動PRを実施した。					
成果	約500人の入場者があり、夢をかなえた有名人の話を直接聴くことで、子どもたちが、夢を持つことの大切さを学ぶことができた。団体の活動を支援することで、今後の活動の活性化を図ることができた。					
次年度課題	青少年関係3団体と連携し今後も魅力あるプログラムづくりに努める。					

◎子どもの安全対策の強化

家庭での防犯意識を高めるとともに、市全体で子どもの生命・身体を守る取組みを強化します。また、各種団体が取り組んでいるパトロールなどの地域の見守り活動を支援します。

平成27年度事業							
◇地域子ども安全安心事業464千円(こども教育課)・☆小中学校通学区事業26,825千円(子育て支援課)							
		第5期実施計画期間				後期終了年度	
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	家庭・事業所への協力依頼	家庭・事業所への協力依頼	家庭・事業所への協力依頼	家庭・事業所への協力依頼	家庭・事業所への協力依頼	家庭・事業所への協力依頼	市民参画の取組みの検証、改善
取組実績	家庭や事業所の協力を得て、こども110番の家、110番の車の取組を進めた。						
成果	こども110番の家に1565世帯、車に399台の協力があり、地域が協力して取組むことによって、見守り活動の充実が図られ、安全なまちづくりに寄与することができた。						
次年度課題	協力家庭、事業所が増加するように協力体制を関係機関に呼びかける必要がある。						
計画	見まもり活動への協力依頼、大阪府警本部との連携	見まもり活動への協力依頼、大阪府警本部との連携	見まもり活動への協力依頼、大阪府警本部との連携	見まもり活動への協力依頼、大阪府警本部との連携	見まもり活動への協力依頼、大阪府警本部との連携	見まもり活動への協力依頼、大阪府警本部との連携	市民参画の取組みの検証、改善
取組実績	自転車ひたくり防止カバーをPTA等に配布し、地域の安全推進を図った。地域防犯研修会を開催し、摂津警察署・大阪府警本部より講師として参加していただいた。						
成果	地域での子どもの見守り活動の充実を図ることができた。						
次年度課題	安全対策に取り組む関係各課との連携を引き続き行っていく必要がある。						
計画	通学路の安全対策を進める	通学路の安全対策の指針策定を踏まえて路側帯のカラー舗装等の安全対策を検討	通学路の安全対策の指針策定を踏まえて安全対策を検討・実施	通学路の安全対策の指針策定を踏まえて安全対策を検討・実施	通学路の安全対策の指針策定を踏まえて安全対策を検討・実施	通学路の安全対策の指針策定を踏まえて安全対策を検討・実施	通学路の安全対策を進める
取組実績	交通専従員を18か所に配置するとともに業務のマニュアルを作成し、全員に配布した。また摂津警察署や関係各課と連携し安全点検を行った。						
成果	交通専従員の配置により、安全の確保を図った。マニュアル化により統一性をもたせることができた。危険個所の対応方法の検討を進め、関係機関による問題意識の共有化を図ることができた。						
次年度課題	通学路の安全対策に係る指針策定が必要である。						

【摂津市の特色や魅力のある取組みとして進めていくこと】

子どもの安全の向上

平成18年(2006年)4月に「子どもの安全安心都市」を宣言し、市全体で子どもの安全の向上に取り組んでいます。また、事業所にも「こども110番運動」に多数参加・協力いただいております。今後も参加を促進します。

平成27年度事業							
◇地域子ども安全安心事業464千円(子育て支援課)							
		第5期実施計画期間				後期終了年度	
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成32年度
計画	関係各課、関係団体が連携し、小学校区単位、中学校区単位、市全体で、子どもの安全対策や防犯対策を推進。地域防犯研修会を開催	関係各課、関係団体が連携し、小学校区単位、中学校区単位、市全体で、子どもの安全対策や防犯対策を推進。地域防犯研修会を開催	関係各課、関係団体が連携し、小学校区単位、中学校区単位、市全体で、子どもの安全対策や防犯対策を推進。地域防犯研修会を開催	関係各課、関係団体が連携し、小学校区単位、中学校区単位、市全体で、子どもの安全対策や防犯対策を推進。地域防犯研修会を開催	関係各課、関係団体が連携し、小学校区単位、中学校区単位、市全体で、子どもの安全対策や防犯対策を推進。地域防犯研修会を開催	関係各課、関係団体が連携し、小学校区単位、中学校区単位、市全体で、子どもの安全対策や防犯対策を推進	関係各課、関係団体が連携し、小学校区単位、中学校区単位、市全体で、子どもの安全対策や防犯対策を推進
取組実績	こども110番の家・子どもの安全見まもり隊をはじめ、多くの団体が子どもの安全対策に取り組んだ。						
成果	こども110番の家に1565世帯、車に399台の協力があり、地域での子どもを見守り体制が推進できた。						
次年度課題	各種団体の連携、情報交換を行う必要がある。						